

もっと知って 住民自治協議会

#39 松ヶ崎住民自治協議会

「逃げろ 逃げろ」



防災訓練、巨大地震情報を常に発信しています。



集中豪雨対策 「地域内共助」の構築

家屋が浸水した時、被災者を助け合うシステムを構築しています。

松ヶ崎は、松阪市の北部に位置し、国道23号を挟んで大きく4つの地域で構成されています。世帯数は約600世帯、約1,300人が生活する海と空の青さが広がる自然環境に恵まれた町です。しかし、区域の広さが日常の交流に大きな壁となり、地区ごとに人々の求める内容も微妙に違う面がみられます。特に、人々の付き合いが疎遠になっている現状がみられることから「一体感・連帯感を高める」「同じ価値観を持ち一緒に行動する」「良好な関係づくりのため交流の場づくり」に力を注いでいます。

その方策として、全地区に共通する課題を抽出、事業として、形創りをする必要があります。

今、松ヶ崎として力を入れなければならない課題は、交流対策の外にも南海トラフ巨大地震対策・

高年齢者対策に加え、歴史学習など挙げる事ができます。

住民協結成後、

各事業について一進

一退を繰り返しながらも、常に結果の検証をおこない、次に活かすための創意工夫に努めてきました。

住民自治協活動の活性化は、多くの人々に活動の情報を提供し、参加を促す事にあると思っています。そして、生活に密着した情報を提供することで、参加を求め、その結果をみんなで話し合うシステムが構築できればと思っています。この動きが将来にわたって持続させるには、地域づくり団体として成熟しなければなりません。地域づくり団体として、企画能力と実践能力のアップを図り、リーダー各自が自覚を持ち、知識の習得に努める必要が求められます。今後も一人ひとりが手を携え、地域が一体となる良好な関係づくりに努めていきます。



先人が残された桜道に記念植樹、ベンチの設置などおこないました。

活動紹介



松ヶ島城跡を訪ねる



平成28年12月、ガイドボランティアを発足。歴史ファンに説明をおこなっています。また、松ヶ島城跡物語を作成し、史実を紹介しています。



災害発生時相互支援協定書の締結



豊田住民自治協議会と相互支援協定書を締結するなど、広域連携で災害対策を進めています。

高齢者100人アンケート調査報告



高齢化が進む松ヶ崎「高齢者が何を必要としているのか」アンケート調査を実施。写真の通り報告書を作成し関係者に配布しています。

海を舞台に港まつりを開催!



毎年9月に開催される12年の歴史があるまつりで、多くのスタッフの協力を得ています。来場者も延1000人を超す大イベントとなり、人々の交流の場として定着しています。

大知りせ